

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京YMCA PIT西早稲田			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		～	2025年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～	2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の特性を理解して、利用者と保護者のニーズや課題を分析の上、個別支援計画を作成し支援している。	・日々の事前・事後ミーティングや月1回のスタッフミーティングでニーズや課題を共有し、複数のスタッフの視点で分析・対応を検討しながら支援内容を組み立てている。	・モニタリングの機会を増やし、支援目標や内容の検討・見直しをさらに強化する。 ・特性理解と支援の充実を図るため、職員研修の充実や外部研修への参加を進める。
2	・利用者の状況について保護者と連絡を取り合って共通理解を持ち、連携をしながら共に利用者の成長を育んでいる。	・送迎時や電話・メールを活用し、利用者の状況をこまめに報告・連絡している。 ・保護者からの相談を丁寧に聞き取り、共に考える時間を持ちながら支援している。	・今後も利用者や保護者との信頼関係を大切にし、観察と傾聴の姿勢を持って丁寧な支援を続けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が 必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流など、地域の他のこどもと交流する機会が少ない。交流の仕方や場の設定について検討する必要がある。	・水泳療育があるため、日常的に児童館などで交流する時間を持つことは難しい。 ・在籍者と保護者全員が、地域の他のこどもとの交流の機会を希望されていない。	・近隣の放課後児童クラブのハロウィンプログラムに施設として協力し、仮装したこどもたちにお菓子を配布している。この取り組みに、参加希望の利用者を募集し、交流の機会を設けることを検討する。
2	・保護者同士の交流の機会が少ない。 ・家族支援につながるプログラムの実施が課題である。	・固定曜日の利用で、保護者会も曜日ごとに実施している。 ・他の曜日の保護者と会う機会がほとんどない。	・夏の保護者会で家族支援プログラムへの要望を聞き、保護者全体が交流できる企画を検討・準備する。
3			